

若手句会実況中継 令和2年2月14日(金)

指導者…小澤 實氏・角谷 昌子氏 出席者数 19名

高得点句

1位 スイトピー束ねて蝶になる途中 山田 牧 8点

(受講者7点、角谷選)

講評…スイトピーが蝶になるという発想がよい。スイトピーの色彩は春になる感じがある。(受講者)発想の軽やかさ、淡さが気に入ったが、「束ねて」「途中」が気になる。(角谷) スイトピーとの季重なりが気になる。またこの組み合わせはよく見る。(小澤)

2位 バレンタインデー透明の傘開く 寺澤 始 5点

(受講生3点、小澤・角谷選)

講評…「透明の傘開く」という点に、愛の告白を感じる。視覚的だけではなく、心も開いていくのが伝わる。(受講者)「バレンタインデー」という長い季語を上手く処理している。「透明の傘開く」は内容をあまり言っていないけれど、逆に余韻が出た。(小澤) バレンタインデーの句は一般的に甘くなるが、この句の良さは傘を開いた時に傘の骨が見えてくるところ。愛の純粹さだけではなく、骨が見えることよって甘くなくよい句になったと思う。(角谷)

3位 地に頭こすり恋猫飛びかかる 大西 朋 4点

(受講者2点、小澤・角谷選)

講評…「地に頭こすり」というところが恋猫の凶暴な所を見事に描写している。(受講者) 恋猫の行動が具体的に描かれていて良い。(小澤) 猫を飼っているので、この様子はよく分かる。具体的にジャンプしてくる感じが伝わる。全体が散文的だが、もし切れ字が入ったら、リズムがそこで止まり、却って失敗しただろう。「恋猫」「こすり」と、「こ」音の頭韻が効いている。(角谷)

3位 君子蘭我より長く母を知り

佐藤 貴子 4点

(受講者2点、小澤・角谷選)

講評…長生きしている君子蘭と分かるが、花を褒めつつ、母への愛情をも感じられる上手い句。(受講者) 君子蘭は育てるのがとて も難しいけれど、このお母さんは丹精に育てているのがよく分かる。擬人化も気にならない。(角谷) 相当長生きしている君子蘭と分かり、面白い。(小澤)

3位 囀りやしかと洗はれ皿の裏

笠原 小百合 4点

(受講者3点、角谷選)

講評…「囀」という季語の前向きな感覚がいい。「洗へる」か「洗はる」のどちらがいいかは分からないが、生活の実感がある。(受講者) 「囀」と「厨」の取り合わせは良くあるので損をしている。しかし「もの」で描いたのはよい。また、「洗はれ」というのは、他人が洗った皿を自分が眺めているようで、「姑の目」のように感じるので、「しかと洗ひて皿の裏」「糸床しかと洗ひけり」などと直すとよい。(角谷) 「もの」で押さえているのはよい。受け身の表現が嫌だった。そこを直せばいい句になると思う。「姑の目」は面白い。(小澤)

3位 校庭に石灰の香や春の雨

森下 秋露 4点

(受講者3点、角谷選)

講評…校庭の味気ない所に、雨後に石灰の香りがたったのに気付いたところがよかった。西村和子氏の「運動会午後へ白線引き直す」を思い浮かべた。雨後、白線がぼやけるところに実感がある。(受講者) 「校庭」「石灰」「白線」がセツトになるほど良くみる古い素材だ。春の雨で匂いが立ってくるのは当たり前なので、そこを工夫してほしい。季語と内容を離してほしい。(角谷) 「石灰の香」を感じたのは面白いと思う。ただ「春の雨」が原因、「香」がしたが結果となるので残念。「か」音のくり返しがいい。(小澤)